

製品仕様

型式	膜面積	外形寸法			必要最低水深	必要散気空気量	乾燥質量
		幅	長さ	高さ			
SP225 - A	225 m ²	944 mm	2,186 mm	1,877 mm	2.3 m	2.25 Nm ³ /min	590 kg
SP337 - A	337.5 m ²	944 mm	2,186 mm	1,877 mm	2.8 m	2.25 Nm ³ /min	790 kg
SP450 - A	450 m ²	944 mm	2,186 mm	2,401 mm	3.3 m	2.25 Nm ³ /min	990 kg
SP675 - A	675 m ²	944 mm	2,186 mm	2,401 mm	4.6 m	2.25 Nm ³ /min	1,510 kg
SP900 - A	900 m ²	944 mm	2,186 mm	2,923 mm	5.7 m	2.53 Nm ³ /min	1,910 kg
SP450 W - A	450 m ²	944 mm	2,186 mm	3,165 mm	3.6 m	2.25 Nm ³ /min	1,110 kg
SP562 W - A	562.5 m ²	944 mm	2,186 mm	3,689 mm	4.1 m	2.25 Nm ³ /min	1,310 kg
SP675 T - A	675 m ²	944 mm	2,186 mm	4,453 mm	4.9 m	2.25 Nm ³ /min	1,630 kg
SP787 W - A	787.5 m ²	944 mm	2,186 mm	4,735 mm	5.1 m	2.39 Nm ³ /min	1,710 kg
SP787 T - A	787.5 m ²	944 mm	2,186 mm	4,977 mm	5.4 m	2.39 Nm ³ /min	1,830 kg
SP900 T - A	900 m ²	944 mm	2,186 mm	5,501 mm	5.9 m	2.53 Nm ³ /min	2,030 kg
SP900 Q - A	900 m ²	944 mm	2,186 mm	5,741 mm	6.1 m	2.53 Nm ³ /min	2,150 kg
SP200	200 m ²	944 mm	2,186 mm	1,877 mm	2.3 m	2.00 Nm ³ /min	550 kg
SP300	300 m ²	944 mm	2,186 mm	1,877 mm	2.8 m	2.00 Nm ³ /min	730 kg
SP400	400 m ²	944 mm	2,186 mm	2,401 mm	3.3 m	2.00 Nm ³ /min	910 kg
SP600	600 m ²	944 mm	2,186 mm	2,401 mm	4.6 m	2.00 Nm ³ /min	1,390 kg
SP800	800 m ²	944 mm	2,186 mm	2,923 mm	5.7 m	2.25 Nm ³ /min	1,750 kg

※散気管（メンブレンディフューザー）圧損は最大10kPaです。

SP12-3

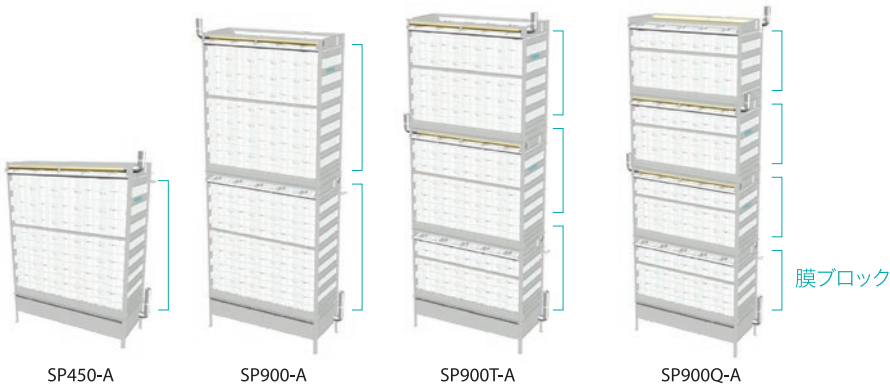
型式構成

- 1

膜面積
XXX[m²]
- 2

膜ブロック段数
なし=1 (膜面積 ≤ 450m²)または
2 (膜面積 ≥ 600m²)
W = 2
T = 3
Q = 4
- 3

膜モジュールタイプ
なし=10m²/モジュール
A = 11.25m²/モジュール



株式会社クボタ

《膜システム部》

<https://www.kubota.co.jp/product/membrane/>

東京本社

〒104-8307
東京都中央区京橋2丁目1番3号
TEL 03(3245)3773

本社
阪神事務所

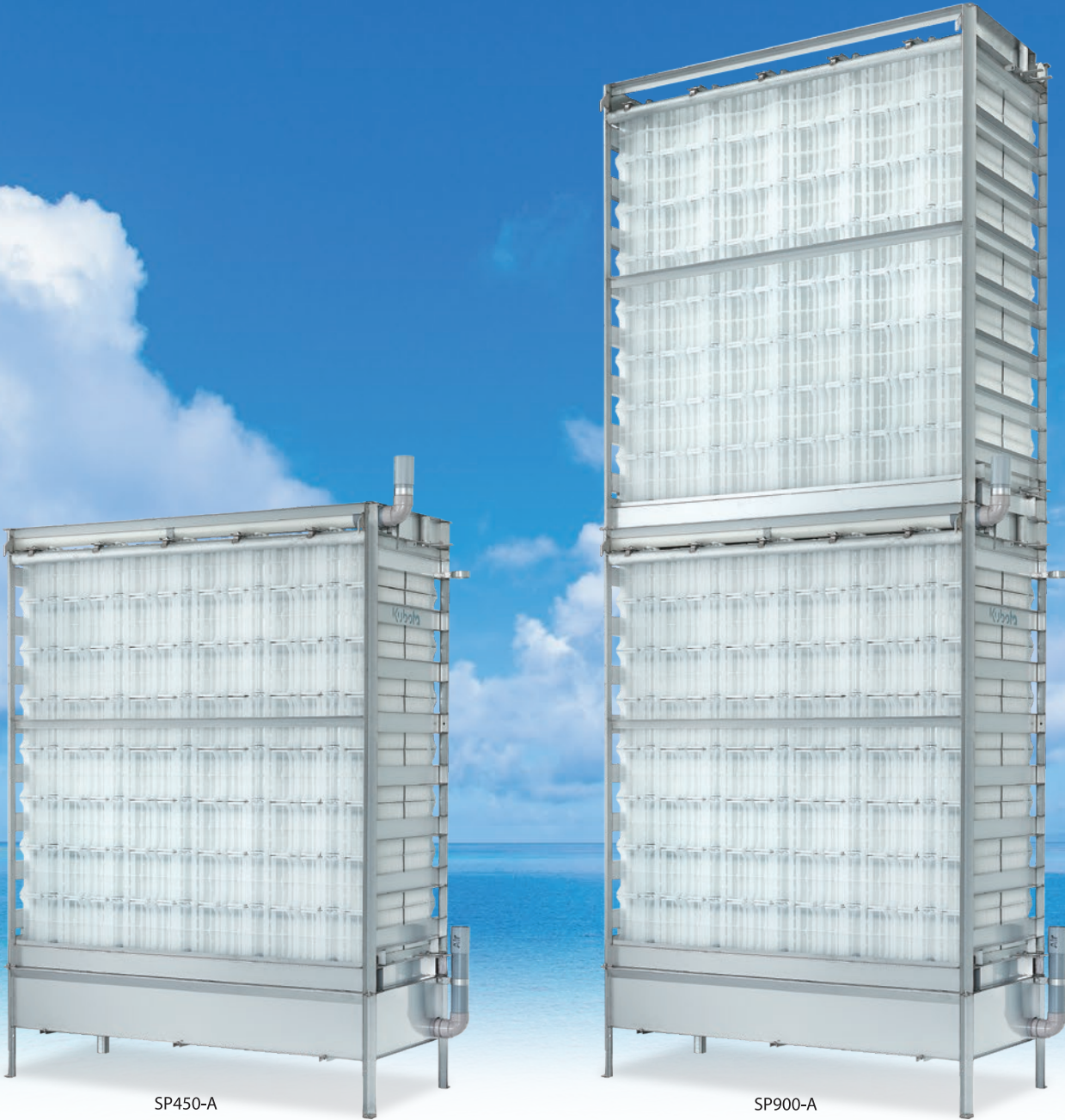
〒661-8567
兵庫県尼崎市浜1丁目1番1号
TEL 06(6470)5140

- 本カタログの製品イラスト及び写真は、酸洗い仕様（オプション）です。
- 製品の仕様および外観は、改良などのため予告無く変更することがあります。
- 「液中膜®」は、株式会社クボタの登録商標です。

For Earth, For Life
くぼた

液中膜®

SPシリーズ



大規模処理向けに

ハンドリングの良さとコストパフォーマンスを追求！！

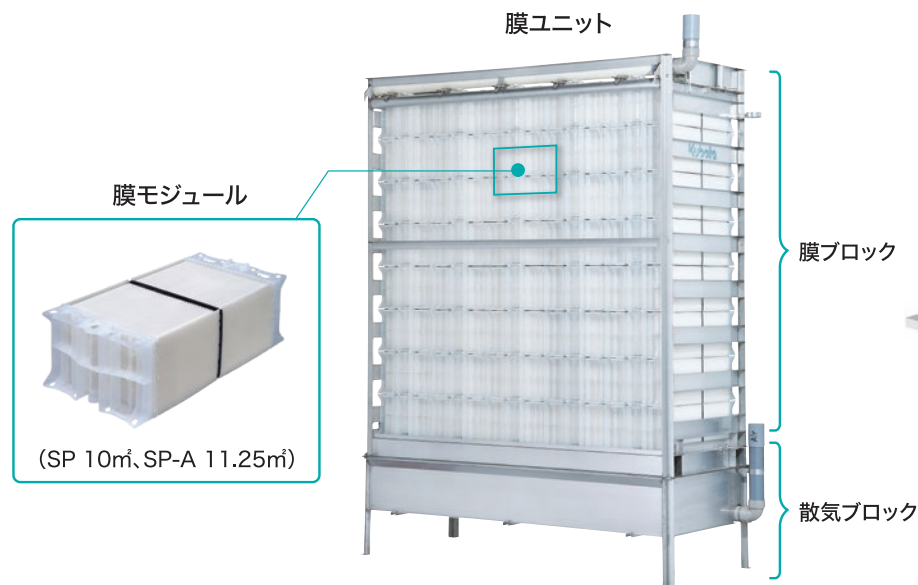
SPシリーズの特徴

クボタ液中膜SPシリーズは、中規模から大規模の排水処理に最適化された液中膜ユニットです

SPシリーズの特徴

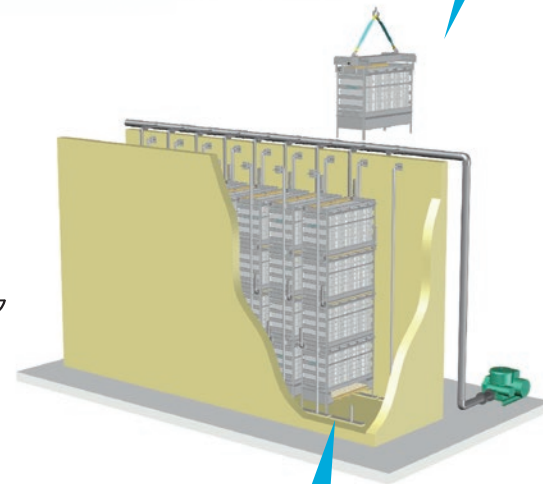
SPは膜ブロックと散気ブロックで構成します。

吊り上げは専用吊り具を使用し、膜ブロックと散気ブロックを同時に吊り上げます。



吊り上げの容易な専用吊り具

専用吊り具はチェーン不要、吊り上げ作業時の手間を省けます。



散気ブロックの高いメンテナンス性

散気ブロックも吊り上げるため、散気管トラブル時の対応が容易です。

膜モジュールの特徴

膜ブロックには、膜モジュールが横に5つ並び、上に必要段数積み上げて設置しています。

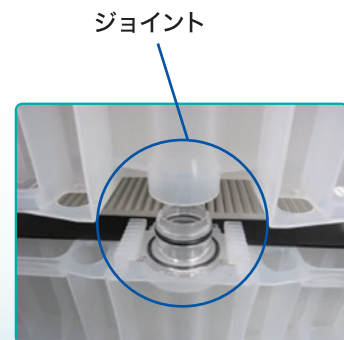
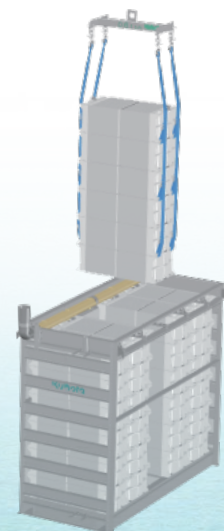
膜モジュール同士は上下のジョイント接続によって、簡単に組み立てられます。

ジョイント部は集水管としても機能し、弊社従来品で使用していたチューブは不要となったため、現場での分解、組立が容易です。

膜モジュールは、専用吊り具を使用し膜ブロックから取り出します。

省メンテナンス 47%削減*

チューブの抜き差し作業が不要で、メンテナンス作業性が大幅向上。



*当社製品RW400に対してSP900-Aを適用した場合の効果を示します。

メンブレンディフューザーの特徴

散気ブロックにはメンブレンディフューザーを使用しています。

メンブレンディフューザーによるばっ気は酸素移動効率が高く、酸素供給ブロウの電力消費を削減することができます。

また、散気管はブローダウン(ばっ気の停止)により洗浄します。

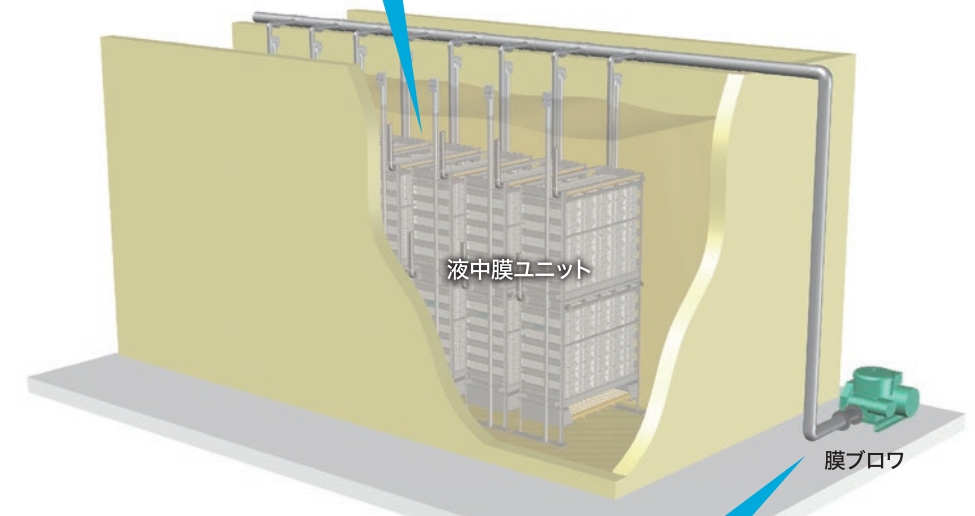


メンブレンディフューザー
散気状況

*当社製品RW400に対してSP900-Aを適用した場合の効果を示します。

施工コスト低減

空気配管は、洗浄空気配管のみで、散気管洗浄配管・洗浄バルブは不要です。



膜ブロックは充填密度を向上させ、洗浄空気量を削減しています。

省エネルギー24%削減*

充実の保証システム

クボタ独自の処理水SSを保証する保証システムがSPシリーズにも。維持管理をサポートし、長期にわたって安定運転いただけます。



01 遠隔監視

日々の運転状態を事務所にて確認します。

02 総合点検

- ①膜モジュールの点検
- ②性能試験
- ③運転状況確認

03 部品供給

- ①膜モジュールの交換
- ②定期交換部品の交換(いずれも総合点検時に実施)

